

いなかで

新たに2つの農事組合法人が創立しました

1月29日
創立



農事組合法人 ^{みじろばら}三代原ファーム (加茂町三代)

(代表理事 ^{にしこりもと き} 錦織基樹さん 組合員 75人、営農内容 水稻、野菜、その他)

農事組合法人三代原ファームは、コシヒカリ・つや姫・きぬむすめ・みほひかりのほか、転作用としてそば、大豆の作付けを予定。また、ハウスを利用してアスパラガスや、ミニトマトアンジェレ・キャベツ・ニンニク・なべちゃん葱・サツマイモ等多くの野菜栽培が予定されています。

今年は新しく整備された圃場から作付けを計画中です。



2月4日
創立



農事組合法人 ^{とやおさとる}さとぼう (三刀屋町里坊)

(代表理事 鳥屋尾 暁さん 組合員 58人、営農内容 水稻、露地野菜)

農事組合法人さとぼうは、コシヒカリ・つや姫・きぬむすめ・もち米のほか、園芸部門として露地野菜と採種大根の栽培が予定されています。

圃場では、今年の作付けのための準備が着々と進められています。



平成31年度

雲南市農業振興施策に関する

意見書への回答（要旨）

昨年10月29日に提出した意見書に対して、2月22日に速水市長より回答をいただきました。

1

農林振興施策の拡充、支援について

●各農産物の販路拡大や、6次産業への支援および儲かる仕組みづくりの充実について

回答…「食の幸発信推進事業」として6次産業化施設整備、産直基幹店整備を計画し、新年度から具体的事業へ着手することで農産物の販路拡大、儲かる仕組みづくりに繋がると考える。



●雲南市独自ブランド米「プレミアムつや姫」を始めとする雲南米の栽培技術等の指導について

回答…「プレミアムつや姫」の認定率

は前年を上回った。この結果を検証し、作付拡大と品質の確保に努める。他品種の良質米も生産される地域があり、ブランド力を強化し、市場の要望に添えていく。

●産直市や給食センターへ継続出荷できる農家への支援、後継者の育成について

回答…新年度は産地交付金の見直しによる出荷の促進と生産出荷を調整するコーディネートターの新設により、さらなる支援に努めていく。

●米の直接支払交付金が廃止され経費も増大した。再度の施策支援の検討を。

回答…これまでの担い手農地集積事業奨励金を見直し、新年度から担い手の農地集積面積に対して単年度で補助金を交付する。

●農地や周辺山林の荒廃は、災害を助長する恐れもある。林業施策も含めた検討について

回答…水と緑の森づくり税を財源とした県の事業を地域等の団体で活用して取り組んで頂くよう推進していく。

●中山間地域の不利益条件等の加算制度の創設や機械施設の導入支援等について

回答…中山間地域等直接支払制度が最終年となることから加算拡充も検討されている。取り組みへの意義の説明や協定締結への支援を行っていく。

法人等組織化された団体への機械施設の導入支援と、組織化のための支援を継続していく。

●農用地区域の見直しについて

回答…新年度に雲南市農業振興地域整備計画の見直しを行う。

●作業効率の良い圃場であることが従事者の負担軽減につながる。圃場整備に係る支援について

回答…国、県の基盤整備事業、市単独補助金がある。要望内容に応じて補助金を紹介している。

●畦畔等の草刈りなどは、作業負担を感じている。地域で支え合える体制づくりや支援等について

回答…地域自主組織との連携を模索し、中山間地域等直接支払制度等現状の補助制度を活用しながら支援し、集積補助金等の拡充に向けた検討も行う。

●コウノトリの共存を考える上で、サギ等の個体数の増加で農地への被害が懸念される。農業経営圏域との棲み分けの明確化と農業環境への影響や対策について

回答…農業者からの苦情や被害の実態を踏まえてサギ類の駆除再開について、県や市猟友会と慎重に検討を進めていく。

2 有害鳥獣対策について

●農作物被害防止対策事業補助金の下限額の撤廃と補助金額の増額、また高齢者が申請しやすいしくみについて

回答…今後も下限金額2万円を設けて取り組みを継続する。

また、受付窓口はこれまでどおり市担当課および各総合センターとさせていただく。

●侵入防止だけでなく駆除をし、個体数を減らしていくことが有効である。駆除員の確保や養成などへの支援、組織の立ち上げ等について

回答…駆除活動に対する支援や担い手確保に向けて40歳以下の駆除員や新規登録員に対し上乗せ補助等を継続して行う。

3 畜産振興対策について

●粗飼料確保事業の再度実施と新たな生産供給システムの検討について

回答…耕種側の集落営農法人等が機械を所有していないという課題もあった。畜産農家が連携・協力して粗飼料を収集する仕組みについて検討を進めていく。

機械導入に対し国・県補助事業を活用して支援を行う。

●子牛価格の上昇により導入に係る農家の負担も増大している。補助金額の上限引き上げについて

回答…市の補助上限額に加え、優秀な牛については、県の「しまね和牛生産振興事業繁殖雌牛改良強化対策補助金」や国の事業を活用し対応していただきたいと考えている。

原文は市ホームページに掲載しています。

平成31年度雲南市標準農作業料金等一覧表

- ★この料金はあくまで標準の料金です。作業条件等により双方協議のうえ決定してください。
 ★備考欄ならびに「3. 特記事項」「4. 圃場条件」に記載してある事項については、それぞれの実情に応じて決めてください。
 ★ここに定めのない農作業については、双方協議のうえ行ってください。
 ★この標準農作業賃金・農作業料金は、消費税が引き上げられた際には改定します。

雲南市標準農作業料金検討協議会

《平成31年4月1日改定》

1. 農作業賃金

作業区分	種 別	単 位	金額 (円)	備 考
農作業	一般農作業	1 日	8,000	

2. 作業料金 (消費税 (8%) 込み)

作業区分	種 別	単 位	金額 (円)	備 考
耕 起		10 a	7,700	・ 圃場周囲の機械作業が困難な場所の作業は委託者が行う ・ 通し代とは、荒代、植代を同一人が受託して行う作業である
代 掻 き	荒 代	10 a	3,600	
	植 代		6,100	
	通 し 代		9,700	
機 械 田 植	一般田植機	10 a	9,100	・ 肥料は別料金 ・ 枕地の手植え、欠株の補植は委託者が行う
	側条施肥型		9,600	
育 苗	硬 化 苗	1 箱	900	・ 種子代を含む
防 除		10 a	2,500	・ 農薬は別料金
刈 取	コンバイン	10 a	22,600	・ 籾運搬費は別途
	バインダー		11,300	
ハーベスター		10 a	11,300	
乾 燥	18.0%以下	30kg	360	
	18.1%～30.0%		840	
	30.1%以上		970	
籾 摺 り		30kg	560	

3. 特記事項

- (1)機械作業の際、作業現場までの機械運送経費は別途双方協議のうえ決定する。
- (2)育苗の運送経費は、別途双方協議する。
- (3)田植作業やハーベスターによる脱穀作業、籾摺作業の際、補助者が必要な場合は委託者負担とする。
- (4)コンバイン、バインダーによる刈り取り作業の際、稲の倒伏程度により1割倒伏・1割加算の基準で双方協議のうえ料金を加算する。
- (5)コンバイン、バインダーの刈り取り作業は、圃場の軟弱の程度により双方協議のうえ料金加算を行う。
- (6)深耕、稲わらの処分等、一覧表に無いものは、別途双方協議のうえ決定する。
- (7)農作業料金に影響を及ぼす事態が生じた場合は、雲南市標準農作業料金検討協議会で協議し、決定した事項については広報等で周知することとする。

4. 圃場条件

※圃場一区画の面積が10a 以上、おおむね乾田である圃場での作業を想定して料金を算定した。
 したがって、一区が10a 未満の圃場、まが10a 以上でも不整形の圃場は、双方協議のうえ料金決定する。

雲南市賃借料情報

《平成31年1月23日改定》

	地域名	平均額	最高額	最低額	件数 ()は物納件数	使用貸借 (無償)
田 (水稻)	大 東 町	6,200 円	9,000 円	3,000 円	208 (10)	122
	加 茂 町	5,400 円	9,000 円	2,000 円	541 (34)	20
	木 次 町	4,800 円	7,000 円	2,500 円	10 (5)	80
	三 刀 屋 町	5,700 円	7,000 円	3,300 円	23 (20)	311
	吉 田 町	4,200 円	6,500 円	2,000 円	44 (17)	19
	掛 合 町	7,200 円	8,500 円	5,000 円	8 (0)	82
畑	雲 南 市	2,000 円	3,000 円	1,000 円	163 (1)	66



女性委員
ルポ

女性農業者の皆さんとの 懇談会

伺いました。

「管理は男性にすべてやってもらっているの、自分たちは収穫などの作業を期間限定で行ってやっているだけです」と謙遜されていましたが、法人にとってはなくてはならない存在であるとお話を伺い感じました。

「作業自体は楽しいけれど、『夏の暑さは、こたえます！』とハウス内での暑さ対策やグッズで話は盛り上がりまし

た。仲間との交流の場として、生きがいとして、楽しみながら作業をしていると話されている皆さんの顔は輝いていま

農業委員

佐藤 博子

女性委員が継続して実施している女性農業者さんとの懇談会。
今回は農事組合法人南加茂で、アンジェレ（機内食にも利用されている糖度の高いミニトマト）や白菜の栽培に携わっている6人の女性スタッフにお話を

60歳未満の 農業者の皆さんへ

農家のための公的年金制度です！

月々 2万円～6.7万円まで

いつでも自由に掛金変更可能！

支払った保険料は…

全額社会保険料控除

積立方式

確定拠出型



農業者年金は、国民年金加入者が対象です。

詳しくは **JA窓口**

または **農業委員会**へ

新制度になって安心の終身支給 農業者年金に加入を!!



店内の様子



スタッフの皆さん

営業日：月曜日～金曜日
営業時間：9:00～12:00
休日：土・日・祝日



三刀屋町

みとや 青空ふれあい市場

菜が中心の市場です。

JAしまね 旧三刀屋支店の隣にある、『青空ふれあい市場』は地元三刀屋町で採れた野

会員は約100人で三刀屋町内の農家さんの野菜や花、加工品手芸など多くの品物が並んでいます。また、月に1回のJAしまね雲南さくら支店への出張販売や、曜日によってパン、鮮魚などの販売もあり、地域の皆さんもそれらを楽しみにされています。
この日は、旧正月ということですね。先日は甘粥などふるまっておられ、無料でいただけるお茶やコーヒーなどと一緒に皆さんのくつろぎ、憩いの場となっています。

編集後記

「半農半X」は25年前から使われ始め（半Xとは農業に関わりながら、自分にしか果たせない役割・夢・もう一つの仕事にしたいという自身の悩みを解決するために作った造語のようだ、近年の多様化するライフスタイルを象徴している言葉とも言える。最近では行政も、支援事業を実施しているところもある。

近年、雲南市でも全国初の取り組みとして『空き家付き農地』に取り組み、全国から注視され、少しずつではあるが移住者が年々増えているのはうれしい現実ではある。

中山間地域を大半とする雲南市内で、これまでであった米の直接支払交付金がなくなったこともあるのか、水稲栽培の規模を縮小し地域からも撤退する法人が出始めた。地域をベースに活動してきた法人も採算に合わないのか苦渋の決断をされたよう

だ。そこへ救世主として「半農半X」を志し「空き家付き農地」を活用した、移住者（地域を支える人材になってくれる人）は来てほしいが…。(H)

全国農業新聞を 購読しませんか？

全国農業新聞は、農業の最新情報を提供。農業全般の情報や地域の明るい話題なども紹介しています。

◆毎週金曜日発行
◆月額 700円（送料税込み）
◆申し込みは 農業委員会へ
☎ 0854-40-1092

